

令和元年 黒部市教育委員会 12 月定例会 議事録

日 時 会 場	令和元年 12 月 25 日 (水) 午後 3 時 00 分～4 時 05 分 黒部市役所 201 会議室
出席者	教育長 中 義文 教育委員 前田 潤 (教育長職務代理者) 教育委員 加藤 昌弘 教育委員 雪山 俊隆 教育委員 泉 博美 教育部長 長田 行正 次長・学校教育課長・学校給食センター所長 高野 晋 生涯学習課長・ジオパーク推進班長 島崎 豊 スポーツ課長・フルマラソン推進班長 橋本 正則 図書館長・図書館構想推進班長 中嶋ひとみ 学校教育班長 齊藤 誠 こども支援課長 藤田 信幸 生涯学習施設建設推進班長 中湊 栄治 学校教育課主幹 輿水 一紀 生涯学習課主幹 館野 敬子 スポーツ課主幹 能登 隆浩 学校給食センター主幹 松平真由美
傍聴人	なし (会議冒頭「市民憲章」朗唱)
教育長	只今から、黒部市教育委員会 12 月定例会を開会します。「議事録の署名について」は、私が署名します。次に、「11 月定例会の議事録」について、訂正・質問等がありましたらお願いします。
委員	(質問なし)
教育長	特にないようでありますので、記載のとおりとして議事録に署名することとします。 次に教育長報告をいたします。 1 所管事業の状況報告について (行事等) (1) 12 月 6 日(金) スクールミーティング (市役所 202) (2) 12 月 15 日(日) 第 37 回年忘れジャンボもちつき大会 (下立まちおこしセンター) 2 出席した会議等の概要報告について (1) 12 月 18 日(水) 教員確保対策会議(臨時) (県庁) (2) 12 月 20 日(金) 黒部市姉妹都市事業推進委員会 (市役所 201-203) 3 所管事務に関する問題・情報等について (児童・生徒の安全・安心に関すること) [前回会議以降、今回会議までの間] (1) 児童・生徒の交通事故等 ○交通事故 (1 件) ○その他の事故等 (1 件)

- (2) 不審者情報等（1件）
- (3) 鳥獣出没情報（7件）
- (4) いじめの認知件数及び指導の経過（10月報告分）
 - ①小学校（新規認知件数3、指導中4、見守り中15、解消2）
 - ②中学校（新規認知件数0、指導中2、見守り中2、解消3）
- (5) 令和元年度在籍児童・生徒・園児数（12月1日現在）
 - ①小学校 児童数2,086人（前月比 同数）
 - ②中学校 生徒数1,048人（前月比 同数）
 - ③幼稚園 園児数 67人（前月比1人減）※こども園含む

以上、教育長報告としますが、質問がありましたらお願いします。

委員

二つ確認したいことがあります。一つは、12月18日に開催された教員確保対策会議についてです。先ほど丁寧な説明があり、会議の概要は分かりましたが、個人的に気になっているのは、名簿登載者、いわゆる教員内定者の7割が県外出身の方であるという点です。説明のあったことについて、県の取組は、何か小手先というか、対処法のような気がしてなりません。私は、もっと根本的なところだと思いますが、富山大学教育学部がなくなり、人間科学発達学部という名称に変わり、この状況で、中学校全教科の免許状取得ができなくなったわけです。それも原因の一つですが、大学の学部名による変化も大きいのではないかと思いますので、できれば、県外出身の方が7割というところに注目すると、県立大学に教員養成学部、あるいは教育学部というものを設けるよう、市町村から県に要望するといいますか、強く申し入れ、県立大学に教育学部を設けることにより県内の教育は県内の子どもたちが支えるといった根本的な考え方で進むようにしなければ、小手先の、例えば再任用を強化すると言ってみても、毎年毎年同じことが行われるのではないかと思います。新任の先生方を他県に派遣し、富山県の教育は優れていますといったことを学生にPRさせるという取組について、ニュースで報道されていましたが、そういうことではなく、もっと根本的な対応が大事であり、ぜひ黒部市でも協議してもらい、他の市町村、教育委員会とも協議し、県でしっかり対応すべきではないかと、国立大学があてにならないのであれば、そういうところまでもう迫られているのではないかと、私は危機感を持っています。ぜひまた、黒部市でも検討してもらい、他の市町村とも話し合ってもらうことをお願いしたいと思います。このような意見が会議で出なかったのでしょうかというのが一点です。もう一つは、児童・生徒の交通事故等の件で、もう少し丁寧に、分かりやすい表現にしてもらえればと思います。例えば、「左ドアミラーに接触した。接触した部分には、傷、痛み等はなかった」とありますが、文章的におかしいと思います。これは、「接触した児童の身体の一部には、傷、痛み等はなかった」という表現になると思います。現在の記載では、車の左ドアミラーに損傷がなかったと勘違いしてしまう表現であるので、このような点に気を付け、丁寧に記載してもらいたいと思います。また、不審者情報等についても、「男性は去っていった」ということですが、女子生徒は、その後「学校へ連絡した」または「警察へ連絡した」、あるいは「捜索したけれど見つからなかった」など、何かそのような文章が記載されていれば、読み手側にとって、よりいいのではないかと思いますので、どうでしょうか。これら二点について、教えてください。

教育長

まず一点目については、委員が言われるとおりの危惧を会合の出席者も持っていますが、その会合においては、具体的に、それでは県内の大学をどのようにしていくという意見にまでは至っていません。今後、色々そのような場があれば、今ほどの意見もあるということで、私もその点を話すことはできるかと思います。

委員

国立大学自身は、そのような危機感は全然持っていないのでしょうか。

教育長

そこまでの話、踏み込んだところまでは、今回の会合で言及はありませんでしたが、

委員が言われることはよく分かります。教育学部がなくなったことにより、全教科の免許が取得しづらくなっている、学部をまたいで受講しないとある教科の免許が取れない状況があるという、これは大変な問題だということで話題になったことはあります。今ほどの意見があったことを踏まえて、また今後会合に臨みたいと思います。

委員 ぜひよろしくをお願いします。

教育長 それと、表現、表記の問題ですが、これも改めて丁寧にしっかりと分かりやすい内容となるよう努めていきたいと思います。申し訳ございませんでした。

委員 よろしくをお願いします。

教育長 ほかに何かありますでしょうか。(なし)
次に報告事項に移ります。はじめに「報告第1号 令和2年度学校給食費について」報告願います。

学校給食センター所長 それでは「報告第1号 令和2年度学校給食費について」ご説明します。黒部市学校給食運営委員会規則第2条第2号の規定により、令和2年度の給食費について、学校給食運営委員会に諮問するものです。令和2年度の学校給食費について、センター方式、自校方式の両方ともですが、中学校は1食あたりの給食費の額は税込みで324円、小学校279円、幼稚園232円、学校給食センター279円とするものです。当金額については平成28年度に改正した以降、この金額で現在まで据え置いています。この額とする理由について、令和元年10月の消費税率の引き上げ実施に伴い、給食物資価格の上昇が想定されたものの飲食物品は軽減税率が適用されていることから、現段階では給食費に関しての影響は少なかったと認識しています。今後、食品の輸送費等に係る増税の影響から食材納入価格の上昇も憂慮されますが、給食費全体の中で調整することとし、現在の給食費の額に据え置くこととするものです。今後、増税後の実績等を踏まえて、以降の給食費については、検討していきたいと考えています。諮問内容については以上です。

教育長 質問がありましたらお願いします。

委員 近隣と比べると、魚津市や富山市について、インターネットに載っている内容を見ますと、あまり大差はなく、多分、この地域の物価に相応したものだと思っています。元々のベースがどのようにして決まっているのかということを実は分かっていません。実績に基づいてこの額が決まっているのだろうと認識しています。何を心配しているのかというと、今後は改善されると思いますが、他の自治体、例えば横浜市みたいな問題は起きていませんし、実際、地場産給食に参加しても大変おいしい給食をいただいているので、特に問題はないと思うのですが、このように提案されても何とも言い様がありません。ただし、市町村の独自企画みたいなものがあれば、また提案できるかもしれませんが、それほど大差がないことも事実であると思っています。

教育長 事務局から何か回答することはありますか。

学校給食センター所長 現在の、本市の給食費の額について、中学校では、本市の場合は324円であり、県内10か所にある給食センター管内において、第3位、3番目に高い金額です。現在、トップは魚津市の326円で、本市よりも2円高くなっています。令和2年、来年度に向けて値上げを検討した、値上げを決めた自治体も既にあります。それらを含めると、今後、本市がこの額で実施すると、10管内の中では上位から、高い方から4番目から5番目位になります。大体真ん中の位置になる予定です。多分、令和2年度のトップは射水市で、今年度すでに令和2年度から値上げを行うということで決まったわけですが、その金額が335円です。本市より11円高い金額ということになります。本市と11円差ですので、

本市がその額に合わせる場合は 3.4%ほど上げる必要があります。例年というか、過去の上昇率を見ると、大体3%から5%の範囲で上げています。そのような点から事務担当としては、今年度というか、令和2年度は県内でまだ中位辺りになりますが、それ以降は、物価指数あるいは人件費、原材料費等をしっかりと見極めて、慎重に検討する必要があると思っています。

教育長 よろしいでしょうか。

委員 ありがとうございます。

委員 少し関連して、この給食費の額と児童生徒の体格、体力について、体力テストもありますが、この相関関係はどうなっていますか。

教育長 私が認識している範囲でお答えします。以前に、運動能力の結果についてのセンセーショナルな記事が、過去最低の小学生の運動能力ということで新聞に出ました。そのことも心配されての質問だと思います。実は、クロス分析を行い、その結果と給食等のクロス分析の考察というものは、私の知っている範囲では明確なものはありません。ただし、どうでしょうか、子どもたちはきっと給食に満足していれば、色々な意味で、活発に活動するというふうに推測するのであれば、ひよっとしたら影響があるのかもしれない。今後そのようなクロス分析のデータが出てくるのか、あるいは今までに行われているのか、少し注視したいと思います。なお、学力との関係は一度クロス分析が行われており、傾向は出ています。

委員 家庭にとっては負担の大きな一つですが、射水市が 335 円であれば、同額位まで上げていくことを考えてもよいかもしれません。子どもたちの話を聞いていると、試食会等で、以前は添加物というか色々なものが給食で出たけど、最近は少なくなったとか、あるいは給食自体を楽しみにしているのにといい声も聞こえてきました。負担は大きくなりますが、その辺りをよく説明してもらい、もう少し値上げしてもいいのかなという気もします。給食運営委員会があるとのことですが、また話し合ってもらい検討してみてください。

教育長 そうしましたら、令和2年度は今お示した金額で対応していきますが、ご意見としては、やりくり云々だけではなく、子どもの楽しみの声、ふりかけや海苔が付いているとか、パンならジャムやバターが付いているとか、そのような添加物というか、それらを楽しみにしているという声もあるということは、学校給食に関係する会等では、また意見としてあったということをお伝えし、検討材料にさせていただきます。

ほかに何かありますでしょうか。(なし)

次に「報告第2号 黒部市議会 12月定例会一般質問・答弁要旨(教育委員会関係)について」報告願います。

教育部長 それでは「報告第2号 黒部市議会 12月定例会一般質問・答弁要旨(教育委員会関係)について」ご説明します。今回の12月定例会では、代表質問1名、個人質問4名の質問を受けました。

自民同志会の代表質問として成川議員から、「防災施策における文化財について」質問をいただきました。台風19号、あるいは首里城の火災等もあり、黒部市の文化財の防災対応はどうかということでの質問です。

続いて、大辻議員から、「小・中学校におけるいじめ調査・認知について」質問をいただきました。内容は三点あり、一点目は「いじめの件数」です。これは、教育委員会報告で行っている10月時点のいじめ件数を昨年度同期と比較し、増加していると答弁しま

した。二点目は「いじめをどの時点で認定するのか」という内容であり、これについては、黒部市いじめ防止基本方針に基づき、その状況を確認し認知していると答弁しました。三点目は「いじめに関するアンケートの学校毎の内容の違い」という内容であり、これについては、黒部市いじめ防止基本方針においてアンケートの参考例を示しており、各学校での独自の取組の中で内容に差異が生じてきたと思われるが、小中学校全体で情報交換しながらよりよい対応に努めたいと答弁しました。

続いて、谷村議員から、「公有財産の利活用について」質問をいただきました。「学校再編や(仮称)くろべ市民交流センター建設等に伴う、旧施設・跡地の利活用を早い段階で具体的に計画すべきでは」という内容であり、それぞれの計画の中で検討しており、地元の住民や関係団体との合意形成を図ることが重要であり、丁寧に検討を加えていきたいと答弁しました。

続いて、成川議員から、「ユニバーサルデザインを意識したまちづくりの推進に向けて」という質問をいただきました。ユニバーサルデザイン関係の質問の中で、学校教育の観点からの質問が五点ありました。主なものとして、「ユニバーサルデザインチョークの導入」という項目があり、少し視覚的に問題がある場合でも見やすいと言われているユニバーサルデザインチョークを導入してはどうかとの質問でした。現在、小中学校5校で利用しており、今後の導入については検討していきたいと答弁しました。二つ目は、「ユニバーサルデザインフォントの導入」という内容で、パソコン等で作成するデータにおいてユニバーサルデザインフォントというものがあり、現在、市や学校で使用しているパソコンにもユニバーサルデザインフォントが設定されている場合があるので、それを利用してはどうかという提案でした。次に、「デジジー図書」についての質問もあり、図書館や学校図書室にデジジー図書を導入してはどうかという提案でした。デジタルでの情報やサービスへアクセスしやすいシステムということで、「音声デジジー」や「マルチメディアデジジー」などがあり、これらについては、今後、新しい図書館や学校図書室への導入について、まずは学校等と情報を共有していきたいと答弁しました。

続いて、柳田議員から、「今後の小学校統合計画について」質問をいただきました。これについては、先般開催され委員に出席いただきました総合教育会議での市長等の発言に関する新聞記事を受けての質問です。一点目は「平成26年4月のたかせ小の開校から6年、統合前の東布施小、田家小の各学校と比較し、たかせ小学校の評価をどう捉えているか。また、同様に桜井小学校についてはどうか」との内容でした。これについては、統合することにより一定程度の規模が確保でき、子どもたちはお互いに協力し、充実した学校生活を送っていると答弁しました。二点目は「教育委員会事務の点検・評価報告書における学校評価の取組」に関しての質問でした。小学校の統合に関連して、学校評議員から特筆すべき意見はあったか、また評価について統合校と他校と特段の差異はあったかという内容であり、これらについては、特筆すべき意見は特になく、差異も見られないと答弁しました。三点目は「荻生小、若栗小、生地小、村椿小における平成30年の各学校の児童数と平成19年当時の推計値との差異を聞きたい。合わせて令和9年の4小学校の児童数シミュレーションをどう捉えているか聞きたい」との内容でした。これについては、各学校における推計値と実績値を示し、想定された推計値より上振れしている状況となっていると答弁しました。また、令和9年のシミュレーションについては、未算定と答弁しました。四点目は「去る11月29日の新聞報道によると、前日の総合教育会議の席上、市長は今後の小学校の統合について『小学校があるかないかは地域の在り方に結び付く。計画通り統合していかは時期尚早かもしれない。再度検討した方がいいのではないか』と述べられたとありました。また、教育委員からも『慎重に進めたい』との意見が出されたとありました。この文脈においては、令和9年度までに予定される統合時期を延ばすのか、あるいは統合相手の組み合わせや単独校の選択を含め、一旦白紙に戻し再検討するのか、良くわからない部分もある。改めて現在の市長の考えを伺う。」との内容でした。これについては、「小中学校再編については、平成20年2月に

『黒部市学校教育基本計画』、平成24年10月に『黒部市立小中学校再編計画』を策定しながら、取り組んできた。来年4月には、清明中学校と明峰中学校が開校し、本市の中学校の新しい歴史が始まる。子供たちが多様な可能性をもつ大勢の仲間の中で、切磋琢磨しながら、心身ともに元気で健やかに過ごせる教育環境を創っていくことが、私たちの世代の役割であると考えている。今回の中学校統合は、少子化が加速する中、適正規模を確保することで教育環境の向上を図るものであると考えている。一方、小学校の再編については、各地区の小学校は地域とともに歴史を歩んできており、中学校統合とは性格を異にしていると思っている。小学校の再編は各地区にどのような影響を及ぼすのか、注視していく必要があると考えている。私は、人間をつくる原点は、学校教育にあると思っており、規模や地域性も含めて考えていく必要があるという認識をもっている。平成24年に策定された『黒部市立小中学校再編計画』で記載されている統合に関する『将来構想』については、計画策定以降の時代の変化を見極めながら結論を出していくべきであると考えている。今後の市全体の児童生徒数の見通しを踏まえ、家庭、学校、地域との関係、施設の状況、通学環境の確保など、多くの視点を考慮しながら、小学校再編計画について慎重に再検討を進めていきたいと考えている。」と答弁しました。先の総合教育会議で発言された内容とほぼ一緒ですが、小学校再編計画について慎重に再検討を進めていくということを、市長は答えているということです。最後、五点目は「旧東布施小学校と旧前沢小学校の跡地利用について」の質問でした。これについては、これらの施設は、現時点において、市が行う事業に使用する計画は無く、売却処分を基本とすることとしているが、地域の皆様と協議を行っていききたいと答弁しました。

説明は以上です。

教育長

質問があればお願いします。

委員

色覚異常について、色覚検査を小中学校1年生を対象として希望者に対し実施しているとのことですが、希望の確認と実際の検査をどのように行っているのか教えてください。

学校教育班長

色覚検査については、小中学校1年生に対し、大体6月あたりだと思いますが、色覚異常とはこのようなことです、このような不都合があります、ぜひ検査を受けてみませんか、といった内容で案内を出し、アンケート形式で希望の有無を確認しています。ここでは、希望します、希望しません、診断済みという三択で丸印をつけてもらい集めることにしています。小学校と中学校の1年生に対し、養護教諭が時間を取って行っています。それが、90数%の希望率となっており、その中で、児童生徒において色覚異常と診断された子どもたちに対し、受診を勧めているということです。

委員

現状はどう対応しているのかと思い質問しましたが、適切に実施されているということで安心しました。

教育長

ほかに何かありますでしょうか。(なし)
次に「報告第3号 課等の事業報告(経過・予定)について」報告願います。

学校教育課長

〔経過事業〕

- 12月 4日 黒部市議会12月定例会(～19日)
- 12月 6日 スクールミーティング
- 12月 9日 小中学校長研修会
- 12月18日 教員確保対策会議(臨時)
- 12月20日 黒部市姉妹都市事業推進委員会

[予定事業]

- 1月 6日 執務始め式
- 1月 7日 新年あいさつまわり
- 1月 8日 3学期始業式(小学校・中学校)
- 1月 8日 2020年賀詞交換「新年を寿ぐ会」
- 1月12日 「鷹施中学校」・「宇奈月中学校」見学会
- 1月14日 小中学校長研修会
- 1月28日 教育委員会1月定例会

生涯学習課長

[経過事業]

- 12月14日 第5回歴史講座「民具は庶民の文化財」
- 12月15日 第37回年忘れジャンボもちつき大会
- 12月17日 令和元年度有害環境浄化パトロール

[予定事業]

- 1月11日 おんづろこんづろ
- 1月12日 令和2年黒部市成人式
- 1月15日 黒部市芸術文化協会新年懇親会
- 1月25日 令和元年度生涯学習フェスティバル(～26日)

スポーツ課長

[経過事業]

- 12月 1日 第37回黒部名水マラソンエントリー開始(～2/29)

[予定事業]

- 12月28日 KUROBEアクアフェアリーズ V1リーグホームゲーム
(vs PFU、29日 12:00～vs トヨタ車体)
- 1月 1日 第11回黒部元旦健康スポーツマラソン大会
- 1月 4日 2020新春フェスティバル
- 1月22日 (公財)黒部市体育協会新年懇親会

図書館長

[経過事業]

- 12月 8日 合同読書会講演会
- 12月14日 出前講座
- 12月20日 産前産後サポート事業「ママサロン」ミニ講座

[予定事業]

- 1月28日 蔵書点検(～31日)

学校給食センター所長

[経過事業]

- 12月23日 2学期学校給食終了(幼稚園・小学校)
- 12月24日 2学期学校給食終了(中学校)

[予定事業]

- 1月 8日 3学期給食開始
- 1月24日 全国学校給食週間(～30日)

こども支援課長

〔経過事業〕

- 11月29日 生活発表会（さくら幼稚園）
- 12月4日 保育参観（石田こども園）
- 12月6日 保育参観（生地こども園）
- 12月6日 もちつき（さくら幼稚園・石田こども園）
- 12月10日 もちつき（生地こども園）
- 12月19日 クリスマス会（さくら幼稚園）
- 12月23日 クリスマス会（生地こども園・石田こども園）
- 12月24日 2学期終業式（生地こども園・石田こども園・さくら幼稚園）

〔予定事業〕

- 1月8日 始業式（こども園、幼稚園）
- 1月10日 世代間交流（4歳児祖父母との交流）（生地こども園）
- 1月10日 新年お楽しみ会（石田こども園）
- 1月20日 親子で遊ぼう（3、4歳児）（さくら幼稚園）
- 1月21日 親子で遊ぼう（5歳児）（さくら幼稚園）

教育長

質問があればお願いします。

委員

以前に聞いたことがあるかもしれませんが、重複していたら申し訳ありません。他の課にも関わることですが、生涯学習課における掲載事業について、資料に記載する事業はどのようなガイドラインで選ばれているのでしょうか。主な行事ということでしょうか。ピックアップするガイドラインというか、そういったものはあるのでしょうか。

生涯学習課長

主な行事を記載しており、ガイドラインという形のものはありませんが、地域もしくは市として実施している事業や、市が関わる各種団体の事業を資料に記載しています。

委員

例えばお祭りとかであれば、それぞれの地域に多くあると思いますが、その辺りの選び方はどのような感じなのかと思い質問しました。

生涯学習課長

伝統行事という形ものは、それぞれのお祭りでもあると思いますが、個別のではなく地区として実施している行事、お祭りについて資料に記載しています。

委員

それらは基本的に全部取り上げるということですか。

生涯学習課長

全部取り上げるということになると思います。

委員

分かりました。何となく分からない点もあるのですが、ピックアップする場合は、何か選ぶ際のガイドラインがあれば分かりやすいのではないかと思いますのと、確認ですが、文化財に関わるものであれば、基本的に掲載するということですね。

生涯学習課長

そうです。

委員

分かりました。

教育長

ほかに何かありますでしょうか。（なし）
次に、「連絡事項等」についてお願いします。

学校教育課長

(今後の日程について確認)

○教育委員会 1月定例会 【日時】 1月28日(火) 午後1時30分
【場所】 市役所201

教育長

日程等について、何かありますでしょうか。(なし)
以上で、本日の会議を終わります。

上記、議事録の正確なることを証するために、次に署名する。

令和2年1月28日

署名人 黒部市教育委員会 教育長